

平成26年度 第3回

川合市長と語り合うタウンミーティング

～ 川越市老人クラブ連合会～



日時：平成26年8月26日（火）
午後2時00分～3時30分
場所：やまぶき会館 BC会議室

参加者

川越市老人クラブ連合会 21名

出席者

市長、奥山副市長、市民部長、高齢者いきがい課長

意見数

分類	件数	内容	頁
保健・福祉・医療	5	市老連担当者の異動	2
		老人クラブ会員の増員	3
		老人クラブの実態調査	10
		借り上げバス	15
		徘徊高齢者対策	18
教育・文化・スポーツ	2	市民会館とウェスタ川越の利用	7
		小江戸川越ハーフマラソンの補助要員	13
都市基盤・生活基盤	5	市民グラウンドの整備と設備	2
		道路の陥没	9
		閉店した店舗の看板撤去	9
		小畔川沿いの地域の整備	14
		公園施設	17
地域社会と市民生活	2	地域会議の開催	12
		交通安全等の啓発	14
行財政運営	1	補助金の削減	7
その他	3	市長・副市長の主催事業への出席	6
		退職職員とのコミュニケーションの場の設定	8
		市情報伝達用ハガキ	9
計	18		

意見交換（要約）

《市老連担当者の異動》

意見 理事になりまして3年目です。やっとわかってきたのですが、市老連の理事会は、社協の事務局でもっており、おんぶにだっこになっているというのがわかりました。けれども、事務局の市老連担当者は毎年変わってしまいます。それも前任者は3月31日でやめてしまい、後任者は4月半ばにならないと決まらないので、引き継ぎも何もないということでした。年度初めの事業で何をするのか、ということになり、これについては理事も変わりますので市老連の事務局に指導していただいているのですが、その指導する方が何をしたいのかかわからないということで大変に困っております。

ですから、事務局の担当者は、できれば複数年度担当していただいて、引き継ぎも必ずやってください。引き継ぎは20日間ぐらいやらないと引き継げないと思うんですね。市老連の事業がストップしたり日程が変わったり、大変困っております。会長からは社協に対して担当者は変えないで欲しい、というお願いをしておりますが、この3年間、その意見が聞き入れられたことはないみたいです。3年で3人変わりました。その辺を勘案して、ぜひお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

副市長 ただいまのご要望につきましては、社協の現状がどうなっているかを私がまず把握をさせていただきまして、ご要望の趣旨に沿った形で対応できるよう、今後、努めてまいりたいと思います。

《市民グラウンドの整備と設備》

意見 私ども保健体育部では、毎年、グラウンドゴルフ大会、ゲートボール大会、それからスポーツ大会というように、年に5～6回、市民グラウンドを利用させていただいております。その市民グラウンドですが、一度雨が降ると、なかなか雨が引かないんです。そうすると必ず延期だ、延期だと言って、延期の日取りも2回、3回となってしまうのです。せつかく計画していた行事ができなくなる場合もございますので、ぜひぜひグラウンド整備をよろしくお願いしたいなと思います。今はすごく水はけのいい砂とか土があるそうなので、是非そういうものをグラウンドに足すとか、そういう工夫をしていただきたいなと思います。

それとグラウンドに置いてある物置は、ドアが壊れてガタガタなんです。絶対、今度は手をけがします。開け閉めが大変なんです。ですから、新しいもの、もう少し大

きなものを用意できたらお願いしたいなと思っております。その点だけはよろしくお願いいたします。

それとグラウンド整備に使うグラウンドブラシも、できましたら市老連の名前でお金がいただけたら、自由に私どもがグラウンド整備できるのではないかなと思いますので、その点も是非よろしくお願いいたします。

市長 グラウンドの水はけが悪い、グラウンドの改良というご要望は、会長さんからそういうお話をいただいたことがございます。若干、費用等もかかることでございますので、にわかにというわけにはまいりませんが、十分検討させていただいて、できるだけ早い時期に、使い勝手のいいような、そういう改良をしたいというふうに考えておりますので、ご理解いただきたいと思います。

ほかの点についても、できる限りお応えしていきたいというふうに思っております。

意見 これは再三、市長さんにもお願いはしているんですけども、市民グラウンドのトイレについて、スポーツ大会、芸能大会のときに女性の方が非常に困っているのですね。大体老人クラブ連合会というのは女性の方が半分ぐらいおいでになるので、順番待ちでトイレを使うというような状態です。仮設トイレのようなものでも増設をしていただくことを市長さんに重ねてお願いをいたします。

意見 それにつきまして補足をお願いします。

私は、あのグラウンドをずっと使っておりまして、物置はゲートボール協会のものなのですが、鍵が4つとも向こうの協会にあって、市老連には1つしかありません。ところが運動会の道具一切とグラウンドゴルフの道具一切とテントで倉庫を使っているような状態で、実際にゲートボール協会で使っているのはほんの一部になってしまっています。あとはほとんどが市老連で使っている。向こうでも市老連のものを使ったりしてやっていますけれども、今、倉庫のドアも、やっとな開けられて、開けたのはいいけれども、外れてしまって直すのが大変だというような状態なんです。1つでも直していきたいなとは思っていたんですけども、この点について、グラウンド協会に対して話しましたら、ぜひ、そうしてくださいというお話ですので、ご一報をお願いしたいと思います。

《老人クラブ会員の増員》

意見 今、川越老人クラブの一番大きな問題というのは、川合市長も随時お聞きになっていると思いますが会員の減少なんです。これは7~8年、ずっと下がってきてい

るわけですが、上部機構の県老連、それから全老連と全国的に減少してきています。全老連で7~800万人いたのが600万人になっている。県老連も今20万人、川越市老連が今8,800人ぐらいなんです、数年前は川越市老人クラブの会員は1万4,000人くらいいたわけです。それがどんどん減ってきている。これはもう代々の会長が、一番大きな問題は会員増だと言いつつも減ってきている。

去年は老人クラブの数が129クラブだったんです。それが今年は123クラブになりました。1クラブ、大体5~60人としましても、6クラブ減れば、300人とか400人くらい減るわけですね。他方で県老連は5人単位でもいいから純増で増やしてくれないか、とのこと。増やしてくれれば表彰するという制度を設けて、我々も5~6人はやっておるんですが、高齢の関係もありまして、亡くなる方とプラス・マイナスしていきまると純増はなく減ってしまっています。プラス中味の問題もあります。老人クラブに入ってもおもしろくないのではないかと、年寄りばかりいる、というようにいろいろな問題があるわけです。これから改善するとして、それはやりつつあるのですが、とにかく減ってきているのを止める必要があるわけです。

老人クラブというのは主務官庁は厚生労働省で、民間のネットワークとして全国規模である中で老人クラブは有数なもの1つですが、この老人クラブの全老連のローガンは5ヶ年で100万人増やそうというものです。その計算はそれぞれ県当たりの46都道府県に割り振られまして、埼玉県は3万人になるんですね、5年間で3万人になりますと、県には老人クラブが63市町村にあるらしいんですが、そこで20万人のクラブを割りましてやりますと、埼玉県はとにかく2万人になるので、川越は5年間でこれくらい増やしてくださいと。それでいきますと川越は3万人になるには、ちょっと細かい話で恐縮ですが、123クラブありますから、1クラブ純増でも2名ぐらいずつでもいいんです。ですから、とにかく増やせばいいと。

前置きが長くなりましたけれども、市長さんと主管課であります高齢者いきがい課に特にPRをお願いしたいのです。今、高齢者は4人に1人ぐらいに増えてきています。老人クラブへ入っている人は2割、多くても3割で、60代の人が入っていない。それは中味の問題もありますが、PRの問題もあるわけですね。このPRを健康づくりという高齢者行政の中で、介護予防と健康な老人をつくっていきがいという方向があると思います。老人クラブも、その方向は一緒なんですね。だから楽しく健康でやっつけられる民間の団体、老人クラブはそういうところですから、そういうところに入ってこれというPRに欠けているわけです。これをやっつければ増えるだろうと私は思います。高齢者いきがい課の所管でやっていただいたと思うのですが、昨年度、広報

川越に老人クラブの入会を募集します、ということで掲載してもらいました。その後、入会希望者からの照会が事務局に数件あったそうなのですが、これをもっと何回かやっていたらと思えます。

それから市長さんが、お忙しい中、いろいろな会合で挨拶をされますよね。健康づくりの観点でラジオ体操をやりました。その関連でも良いのですが、健康づくりということで、老人クラブに入りましょうということや、直接言いにくければ、老人クラブにちょっと言及していただいて、入っていただくということを検討していただければ、効果があるのではないかと私は思います。

意見 補足の説明をさせてください。

老人会の会員が減ったということは全国的な問題でありまして、川越だけではなくて、どんどん減ってきているわけです。なぜかという、役員、会長、それから実際の業務に携わる人、そういう担当の年齢が年々上がってきました。社会福祉、老人福祉法ですか、これができてから 50 年、中味はそう大きくは変わっていないということで、これも考えていく必要があると思えます。老人会のほうでも、当然そういう必要があると思えますし、団塊の世代の方、60 歳から 62~3 歳の方は、まだそういう段階ではない。まだ仕事をしないと生活が出来ない、年金の時期に来ていない、ということがありまして、これは大きな問題であると思っております。

業務は当然、昔から同じようなことをやっているわけですがけれども、市とすれば、先ほど言った事務局の大きな業務量といいますか、そういうものも確かにあります。60 歳以上が老人会の該当者ですが、業務量が年々多くなっているわけです。そういう実情がありまして、その業務量についてと、もっと運営をやりやすくするということが必要ではないかと思っております。

その業務等についても、ほかの体育振興会とか文化振興会とか、各出張所なり公民館、そういうところの事務局的なことも、場所によっては大分違うのではないかと。敬老会という話がありますけれども、実情とすれば足並みがそろっていないというようなこともありまして、やはり実際に老人会の会員だけでこの業務を進めるとしたら、当然、市の会長などは普通の勤務者と同じように出勤しないと業務が進まないと思えます。削れるものは削っていくということは必要なことだと思いますけれども、そういう実情ですので、お互いにこれは検討していかないといけないのではないかと思っております。よろしく願いいたします。

市長 ただいまご意見に出てまいりました会員が減っているというお話は、ほかの自治体の老人クラブでも、あるいは自治会などについても同じような傾向であるという

ふうに聞いております。いろいろな理由があるのでしょうけれども、会員の減少を食い止め、逆に増やしていくというためには、それなりにいろいろPRして、広報活動、啓発活動を充実させなければならないであろうということは認識しております。その辺について、いろいろな形で、例えば市の広報に載せるとか、あるいは公民館、今は市民センターですけれども、市民センターなどにも自治会とか老人クラブ連合会に入りましょうというような、そういうポスター、あるいはチラシ、そういうものを置く等のいろんな方法が考えられますので、行政といたしましても、できるだけ可能な限り、いろいろな形でPRに努めていきたいというふうに思っております。

それと同時に、自治会さんもそうかもしれませんけれども、どちらかという面倒くさいことは嫌だ、楽しいことだったらいいけれどもという、どうしても人間はそういうことになってしまうと思うんですよね。ですから、なるべく老人クラブ連合会様のほうも、楽しい企画をがんがん打ち出していただいく。そういうことをやるのも会員を増やす一つの方法ではないだろうか、というふうに思っております。そういう点での工夫を、どうぞよろしくお願い申し上げます。行政としては、そういうPR活動をできる限りやることによってご協力をしたいというふうに思います。

高齢者いきがい課長 担当課としてお話をさせていただきたいと思います。

私ども高齢者いきがい課において、2名の担当職員を配置させていただいて、皆さんと一緒に増強の取り組みについて考えているところです。皆さんの広報紙でございます全老連という広報紙の、今年4月号に市町村老連における会員増強の取り組みといったことも特集されておりました。私どもといたしましても、こういった先進地の事例もまた参考にさせていただいて、この中に埼玉県での取り組みも載せていただいてございますので、そういった取り組みも参考にさせていただきながら、また広報紙等につきましても、極力掲載させていただくような方向で考えさせていただきたいと思っておりますので、ひとつよろしくお願い申し上げます。

《市長・副市長の主催事業への出席》

意見 ただいま市長さんから、会員の増強についてもお言葉をいただきました。私は、会員の増強はスポーツ大会だとか芸能大会だとか、グラウンドゴルフだとか、そういう大きな会があるときに、市長さん、所長さんのような川越市のトップの方にご案内を申し上げて、出席をお待ちしているわけです。けれども、計画の立て方も悪いのですが、議会をやっているから市長さんは欠席ですと、こういうお言葉をいただくこともあります。やはり大きな会合のときには、市長さん、副市長さんにご臨席をいただ

くことが会員の増強の1つにもなる、これはやぶさかではないと私は思います。どうかひとつ、その点において、市長さんのご臨席を賜りますように重ねてお願いをいたします。

《市民会館とウェスタ川越の利用》

意見 市民会館のことについてです。西口に大きな公共施設が今、建設中のようでございますけれども、老人クラブ連合会の行事としては市民会館がいつまで使えるのか、また、いつから向こうへ移るようになるのかをお聞かせ願いたいと思います。事務局としても申し込みをしておかなければ会館が使用できないと、このように聞いております。お願いします。

市民部長 市民会館、大ホールは一応来年の6月いっぱいです。それで来年の7月から西口を交代で使う形になります。ただ、やまぶき会館は、そのまま残しますので、やまぶき会館はずっと使い、市民会館は来年の6月まで使えます。それと来年の7月からは西口の新たなホール、1,700席のホールを使えるという形になります。予約は11ヶ月前からでございます。ですから、西口の予約は今からだと来年の9月までできますので、もしも来年の9月に何か行事予定があれば、西口で是非やっていただくという形になっております。

来年の6月までですから、来年の7月、8月の予約は始まっています。それとあと来年の6月までと言いましたけれども、6月まででもあいているときはございますので、全部が全部埋まっているわけではございません。4月、5月、6月、もしも何か用事があって、市民会館に問い合わせさせていただいて、あいているようでしたらまだ使えるということでございますので、よろしく願いいたします。

《補助金の削減》

意見 上部のほうからは会員をふやせ、活発に活動しなさいという指令をいただいておりますけれども、活動するにはやはり活動費が必要でございます。毎年、市から補助金もいただいておりますけれども、足りない分は、会費はもちろん、資源回収をやってお金を集めたり、いろいろ工面をして会の運営に当たっているところでございます。

ところが、年々、市の補助金が減ってきております。これも老人会の連合会に聞きますと、市からは何も相談はないと。一方的に引き下げているような雰囲気聞いております。そういうことで、これから活動する方には資金が必要ですので、補助金の

上乘せをお願いしたいと思います。

市長 財政上の理由等で、老人クラブ様に対する補助金だけではなくて、各種補助金をずっと削減してきているという、そういう面はございます。なかなか厳しいところで、ぜひご理解をいただきたいところではございますが、皆様方の強い要望があるということは、しっかりと心にとめておいて、今後、十分検討していきたいと思いますので、ご理解いただきたいと思います。

《退職職員とのコミュニケーションの場の設定》

意見 今、上部機関である県老連につきましては、5年間で3万人ですか、人数を多くしようという一大イベントを計画しておりまして、市老連につきましても、年次的に何人増やしましょう、という報告を出しなさいということで、今出しているわけですが、我々としては老人クラブの会員が亡くなったり、あるいは転居されたりする方があって、なかなか増えない、むしろ減少している、という厳しい状態にあります。それでもやはり入ってきた方というのが団塊の世代、市役所の場合ですと定年になって悠々自適な生活の方をされる方もあるでしょうし、あるいは関連会社にお勤めをする方もいると思うんですけれども、そういう方たちとのコミュニケーションの場というのはいないんですよ。

それで、我々は自治会長さんなどに、「そういう方にはどういう方がいるんですか。」、ということ聞きましても、「個人情報の機密ということで答えられません。」と言われます。どういう方がいらっしゃって、どうなんだということがわからないで、なかなか新しい会員さんの募集というのが把握もできないという状態があるわけですが。

そこで、市役所の方で老人クラブにこれから入るよというような方がいらっしゃると思うんですけれども、そういう方々と私どもとのコミュニケーションの場をぜひ設けていただきたい。彼がどういうことを老人クラブに欲しているのかというようなことも、私ども全然わからないわけです。昔は定年になりますと、輝かしい老人の余暇の生活というのがあって、老人クラブへ入って旅行に行こうとか、どこかへ行こうとか、そういう楽しい予定があったんですけれども、年金の問題だとか厳しい状態がありまして、老人クラブへ入って活動しようという方が少ない。そういう中で、コミュニケーションの場を設けていただければありがたいというのがございます。

市長 老人クラブに入りそうな市のOBとのコミュニケーションの場という件でありますが、なかなかやめてしまった、もう市の職員でなくなった人に、市のほうか

ら、こういう場を設けますから出てきてくださいとか、そういうのもなかなか難しい面があるのかなとは思いますが、何らかの形で検討をしてみたいというふうに思います。

《道路の陥没》

意見 喜多院のそばに住んでおりますが、道路に少し埋没しているところがあります。観光客が、そこへつまずいて転んでしまうというようなことも心配されます。

市長 道路の点につきまして、不具合のあるところは、後ほど「ここここ」、というふうに教えていただいても構いませんし、建設部に「ここがこうなっているから何とかしてよ」というふうに言っていただければ、道路の穴であるとかへこみであるとか、そういうすぐ対応できるものについては、すぐ対応いたします。

歩道をつくるというようなことは、お金と時間がかかるんですが、部分的な補修とか、そういうことであれば、比較的迅速に対応できると思いますので、個別に具体的な場所をご指摘いただいたらと思います。

《市情報伝達用ハガキ》

意見 観光の施設（案内板）がありますが、これから小江戸川越で大いに観光客を伸ばそうというなかで、剥げてきて見にくいものが散見されます。市役所の方もいろいろ気を使っていると思うんですけれども、広報川越の表紙でも裏表紙でも結構ですので、はがきを出すようなスペースをつくっていただいて、何か気がいたらそこをはがきの大きさに切って、それで市役所に、こういう気になるものがありますよ、ということで情報を伝達するような方法を考えたらどうかと思います。52円切手が必要ですが、川越を愛する人だったら、切手を貼って市役所のほうへ提出するかもしれないですね。それに基づいて対処してくれれば、川越が住みよくて、観光された方が喜ぶのではないだろうかと考えています。

市長 頂戴しましたご提言は、大変ありがたいご提言であると受けとめさせていただいて、生かしていきたいと思います。

《閉店した店舗の看板撤去》

意見 観光の目玉としては、いろいろなお店がありますが、残念ながら様々な事情でお店をやめた方がいますね。その看板が依然としてついていますが、観光客は行ってみようかなと思ったら、今日は休みだということで帰られる方がいるということで

す。難しい問題で、お金もかかる問題なので一概に言えないかもしれませんが、そういう要らなくなった広告を何らかの形で撤去して、すっきりした形にしたかどうかと、そういうふうを考えるわけでございます。老人クラブの話から観光の話になりましたけれども、ひとつご検討いただければありがたいと。よろしく申し上げます。

市長 やめてしまったお店の看板がかかっているのは、観光客にとっても迷惑ではないかという、そういうご意見であったかと思えます。確かにそうだと思いますが、あれはそれぞれ所有者がいるものでありまして、やめたのだったら撤去しなさいよ、くらいの勧告はできると思うのですが、市のほうでさっさと片づけるとか、そういうところまではいかないのかなという気はします。いずれにしても、あまり古いみっともない看板であるとか、あるいはもう全く本来の役を果たしていない看板などについては、都市景観上も問題がございますので、何らかの形で減らしていくような、そういう方策を考えたいと思えます。

《老人クラブの実態調査》

意見 先ほど増強の話が出ましたが、現在、川越市の場合は会員が1万人に満たない、8,800人ぐらいで四苦八苦しているという状態が続いているのではないかと思います。内容を分析してみますと、地区によって老人会長がやめて、後任者がいない。それで休眠になっている、というものがたくさんあるようなんですよね。問題は、その休眠になったところに、会員が30人から40人くらいいるということです。会長さんがお辞めになってしまっていないから、結局そこは休眠になっている。こういうふうなものが今、川越市にどのぐらいあるのかという実態調査を、これは老人会でやるのか、市も含めて高齢者いきがい課を中心にやるのかということをごどこかで選定してもらい、見直したらいかがかという提案です。

ここに理事さんが16人来ています。先ほども事務局の方が1年1年交代になっていると。だから事務に慣れるまでに最低3年かかる、ということですが、休眠になっているところを掘り起こすのに、地区の会長さんに任せていて果たして掘り起こしができるかどうか。

来月また研修指導部を中心に会員増強の発表会がありますが、もう一度見直す勇気を作ってもらったらいかがかな、ということをご、今日は市長さんを含めて副市長さん、それから各部長さんが見えておるので、真剣に討議したらいかがなものかと思えました。高齢者いきがい課の課長さんもお見えなので、その辺の御意見をお聞かせいただければ。

高齢者いきがい課長 貴重なご意見をありがとうございます。

私どもとしまして、老人クラブさんの問題点として、どうしても新しい会長さんの引き受け手がなくて休眠の状態になってしまったり、あるいは解散というふうになってしまったり、というところが大きな問題点だと考えております。この点につきまして、できれば老人クラブ連合会さんの中で、そういった情報をお持ちでしたら教えていただいて、できれば市の職員も一緒になって地域を回らせていただくなり、実態について、老連さん、あるいは社協さんとも連携をとりつつ行っていくことも考える必要があるということは認識しております。そして、できるだけ連絡を密にすることが大事なのではないかと私どもとしても考えております。情報がございましたら、ぜひ私どもの方にも入れていただければと考えております。よろしく願いいたします。

意見 老人会と自治会とがタイアップしている会は非常に人数が増えているんですよ。それが自治会と老人会は別という地域の場合は、自治会には非常に優秀な自治会長さんなんかもいらっしゃるのだけれども、老人会という形になりますと辞めてしまうという形になってしまいます。何か自治会を含めた中の老人会長というふうなものやタイアップすれば、そういう休眠というものが防げるのではなからうか、と僕は感じもしますがいかがでしょうか。

市民部長 私が自治会の担当でございますので、ちょっとご答弁させていただきますけれども、先ほどのお話を聞いていて、やはり老人クラブだけでやるという問題ではなくて、その上の自治会が本腰を入れてやらないといけないというふうに思っています。自治会連合会も自治会の加入率について、先ほど少しお話が出ましたけれども、実際に20年前は自治会の加入率は93%ぐらいだったのでしたけれども、今現在、市全体で78%ということで、かなり加入率が落ちております。老人連合会と自治会連合会、これはイコールで両方とも加入率が落ちているということでございます。

ただ、これから川越市がもっと元気になっていくには、それぞれ地域の活動を活性化しなければいけないと思っています。ですから、老人クラブ連合会の活動も活性化しなければいけないし、自治会連合会の活動も活性化しなければいけない。そのおおもとになるのが、やはり自治会連合会だと思いますので、先ほど実態調査のお話が出ましたけれども、私も個人的には自治会連合会にお願いして、各自治会の老人クラブ連合会がどうなっているのか、そこら辺を調査させていただく。多分、自治会長さんがしっかりしているところとか、自治会がしっかりしているところについては、老人クラブ連合会もしっかりしていると思います。ただ、自治会がそれほど活発でないよ

うな自治会につきましては、老人クラブ連合会も存在しないとか休眠のような状態になっていると思います。できれば掘り起こしの作業をやって、自治会連合会の加入率80%を目指そうと、とりあえず78%から80%にいこうよという形で今、取り組んでおりますので、それも踏まえた中で、老人クラブ連合会の会員数の8,800人が9,000人、1万人になるような形の取り組みを、自治会連合会と老人クラブ連合会と両方で協力してやっていくような形をとれば、川越市がより活性化するのではないかというふうに思います。自治会連合会にも課題として上げていきたいと思っております。

《地域会議の開催》

意見 今16人の理事さんがいらっしゃいます。先ほどの事務局と同じで1年や2年やったからといっても、その地区の把握というのは絶対できないと思います。僕は自信を持って言います。場所によっては1年たったら会長を交代します、2年たったら交代しますと、そういう地区があるんですよね。そういう地区ほど、もう一度検討した中で、会長さんが責任を持って運営していけば、もう少し視野が広がっていくのではないかな、という感じが僕はするんですけども、いかがですか、それは。1年、2年生では何もできないですよ、これは。

市民部長 おっしゃるとおりだと思いますが、自治会連合会のほうも、今、個別に名前を出しますと、山田地区、芳野地区は、自治会の会長が1年ごとにかわってしまうんですよ。

意見 あれはまずいね。

市民部長 ですから、それはうちの方で言っているんです。ただその中で、今年からちょっと取り組みが変わりまして、市民センターごと、昔の出張所ごと、本庁管内についてもそうなのですけれども、地域ごとに地域の課題について話し合っていこうということで、地域会議を今年から設立させていただいています。その地域会議の会長さんは自治会長さんということではなくて、その地域の中心となる方が地域についてどういう課題があるのかについて話し合ってもらうことになっております。今現在の老人クラブ連合会、自治会連合会については、1年ごとに役員を交代するかもしれませんが、各地域でつくられた地域会議につきましては継続性がある会長さんで何年かはやっていただいて、それでこの地区についてはどういう課題があるのか、どういふような形でこの課題を解決したらいいのかと、地域の方々と話し合っただくような場を設けるような形での取り組みを今、行っております。今よりも少しずつ改善していくのではないかとということで取り組んでおりますので、ご理解いただきました

いと思います。

意見 今のお話についてですが、名細市民センター管内で、加入自治会は 23 かな、その中で老人クラブが 11 クラブなんです。半分以下、約半分なんです。たまたま今、市民部長さんがお話のありました件は、各センターに今年から話を進めていこうということで、先日、私どもの名細のほうでやったんです。その時に老人会に加入していない自治会長さんがみえましたので、私のほうでどうですか、入ってみませんかということで話をしたところ、加入はしていないんだけど、自治会ではクラブを作っているらしいんですね。でしたら、私の作ったものでよろしければ参考に規約等を差し上げますから、これを参考に一度作ってみたいかがですか、という話をしたのですが、各自治会が先頭になってやらないと、老人会だけの会長が勧めた、支部長が勧めたというのではなかなか増えないです。やはり自治会長さんから、何かの会があった時に、「皆さん、60 歳過ぎたら、65 歳過ぎたら老人会にいかがですか。楽しい事業があるんですよ。」ということで話をしてもらったほうが加入はしやすいと思うんですよ。ですから市民部長さん、そういう機会がありましたら、ぜひ、各自治会長さんにその旨を伝えてください。よろしくお願いします。

市民部長 名細につきましては、この間、私も行って、お話しさせていただきました。今度は来週の木曜日に設立総会を開催して、地域会議の第 1 回目を立ち上げます。その席上で、23 の自治会全てに老人クラブを作ろうという形のことを問題提起していただいて、各自治会で取り組んでいただくような形のもの、それぞれ各地域ごとに頑張っていければいいかなというふうに思いますので、努力させていただきます。

《小江戸川越ハーフマラソンの補助要員》

意見 お願いになりますが、現在まで市の行事に参画しているのは健康まつりだけなんですよね。市老連は組織的には自治会の次ぐらいの組織だと思うんです。ところが市の行事に参画しているのは健康まつり 1 つ。せめてマラソンをやっているんですから、今度、補助要員として扱ってもらえないでしょうか。まだ顔を見ても皆さんより若い人は大勢いますから、ひとつお願いしたいと思います。

市民部長 私は市民部長の前は文化スポーツ部長でマラソン担当だったのでお答えさせていただきます。マラソンの従事者につきましては、体育協会の役員だとか、昔の体育指導員の方々だとか、あとは町内のソフトボールをやっている方々をお願いしているところです。一応、事務局には、老人クラブで是非やらせてくださいというお話があったということをおのほうで伝えておきますけれども、ただ、何かあったとき

に非常に心配でございますので、できるだけ健康に自信のある方にやっていただくような形でお願いしたいと思っております。

意見 人生 100 までですから。

市民部長 わかりました。

《交通安全等の啓発》

意見 老人会には関係ないと思っておりますけれども、川越市内の今年度の死亡事故はまだ 2 件かな、3 件いましたか。去年は 7 件で、その前は 5 件だったんですね。最高によかったなと思ったのは 5 件のときです。今、子どもとお年寄りの事故が多いということでございますので、老人会の集まりのあるところには、交通安全に関するお話であるとか、それから今、自転車が一番危ないよという話も出ていますので、たとえ 10 分でも 15 分でも話をしていただければ随分違うかな、事故の件数が減るんじゃないかなと思っております。というのは、私どもの名細支部では、年に 1 回、警察を呼んで講習会を開いているんですけれども、名細支部の老人会の会員さんは多分死亡事故はゼロだと思うんですよ、今のところは。ですから、我々も会長会議などをおこなうときには、事故を気をつけましょうという話をしています。そういう我々の集まりのときには、是非そういう話を 10 分でも 15 分でもしていただいたらよろしいんじゃないかなと思っておりますので、ぜひよろしく願いいたします。

市民部長 交通安全につきましては、やはり市民部の所管でございますので、高齢者いきがい課から情報をいただいて、老人の方々が集まるような会合につきましては、交通事故の防止についても……

意見 あと、振り込みもね。

市民部長 もちろん振り込め詐欺もございますけれども、ご存じのとおり県下 1 番でございます。大体振り込め詐欺に遭う方はお年寄りの方が多くございますので、できるだけ、あと女性の方が多いそうでございますので、ぜひお気をつけください。

《小畔川沿いの地域の整備》

意見 非常に地域的なことお願いで恐縮なのですが、川鶴支部では、春とか秋に健康ハイクなんかをやっています。健康でいて保険証を使わない、病気にならないというのが、できる最近の社会貢献だよ、というのが、私の決まり文句なのですが、家から出てもらった時、集会所に来たり憩いの家に来る際の交通について、非常に気になっています。健康ハイクは P I K O A のほうまで小畔川沿いを歩いて行きます。以

前にも意見箱などに出しましたが、県の管轄だと言われていました。ですが、そういうハイクに行くときに必要なのはトイレと交通安全です。そういうものがないと身近なところを歩くということもままなりません。鉄道を横切ったり、小畔川沿いの3カ所はどうしても一般道へ出なければいけません。15人ぐらいのお年寄り、高齢者が一般道を歩くということは非常に大変です。役員は横断の旗を持ったり、自動車をとめるようにしたりするのですけれども、歩道がなかったりすると大変危険ですので、そういう意味で、ぜひP I K O Aまでの小畔川沿いをもう少し整備していただければいいかなというお願いです。

市長 道路の問題については、冒頭のお話に出てまいりましたように、土手の道路は県の管轄ということになると思います。県にはしっかりと要望を出して、市のほうで協力できる部分は協力するからというふうな、そういう形ででも出していきたいと思っています。

《借り上げバス》

意見 日帰り旅行みたいなものを非常に楽しみにしています。市のバスで教養を身に着けることを兼ねて、憩いの場として交流をしているのですが、バスを予約することが取り合いのようになっていきます。その日にちによって旅行日を決めるとなると、なかなか難しいと思います。そのシーズンが重なるとは思いますが、もう少し市のバスを活用しやすいような形が取れますよう、要望としては難しいかもしれないですけれども、よろしくお願ひしたいと思っています。

市長 バスの件について、実態というか、何台ぐらいのバスがあって、どういう形で皆さんに利用していただいているのか、私はその実情がわからないんですが、ある程度わかりますか。

高齢者いきがい課長 市で具体的にバスを何台持っているのかというのは、申し訳ありませんが了知しておりません。ただ、皆さんからご希望いただけた場合には、私どもの職員も添乗させていただいて、一緒に行かせていただいているという状況がございます。

そのような中で、できるだけ皆さんのご要望をお聞かせいただき、100%沿うということはなかなか大変かもしれませんが、少しでもご要望を酌み取るような方策を私どもとしても考えさせていただきたいということでやっておりますので、ひとつご理解をいただければと思います。

また、皆さんのご要望によって、私どもとしても、こうしたほうがいい、ああした

ほうがいいということを考えるきっかけにもなります。ぜひ、そういったことをお寄せいただければと考えております。これからもよろしく願いいたします。

意見 バスの件は担当者が何もわかっていないということで、理事会で話題になっていますけれども、市のバスとか社協のバスがあって、市老連は社協のバスを利用しなくてはいけないとか、何時から何時までに行って帰ってこなくちゃいけないとか、1日に何十キロ以上は使ってはいけない、とか制約が多過ぎるんですよね。だから例えば秩父へ行こうかと思うと秩父はだめだとか、朝8時はだめだとか、3時までに帰ってこなくちゃいけないとか、その辺を利用者の目線に立ってもう少し考えていただければ、市老連としても利用ができるのではないかと思います。今はあまりにも制限が多くて行きたいところも行けないようです。私が3年目でわかっているのも、担当の方がこれはわかってもらわないと困りますね。

意見 今のバスの件ですけれども、幾時までに帰ってこなければだめだとか、出発は幾時だとか、そうするともう秩父はだめだと、それから県境の群馬のほうもだめだとか、それからここで女性部のほうで高尾山や江戸東京博物館ですか、そこを計画しているわけですが、交通渋滞の可能性もあるし、それから出発時間も大体8時半なんですね。そうすると帰りの時間が制限されているから遠くへ行けないのだけれども、これはどこで決めたことなのでしょう。

市長 私はバスの実態というのは知らないんですが、推測するに市が持っているバスで、市の職員が運転して、皆様方の便宜に供しているという、そういう関係ではないかと思うんです。ですから、市の職員だと基本的には8時半から5時15分までということになってしまいますし、そういうような形で自然に制約がついてしまっているのではないだろうか。これは推測ですけれども。社協もバスを持っていて運行しているかどうかは。

意見 社協に1台回されたみたいなんですよ、下請にね。

意見 これは2~3回、私もそのバスに乗せてもらっていますけれども、「ことぶき」というバスが来ております。市のバスではないですね。研修は女性部と二次研修が年に一度あるんですよ。ですからもう行ったところを、例えば寄居の水の博物館だとか自然博物館だとか、それからこの間、大宮博物館だとか近くでなければいけないんですね。ですから、少し時間を延長させていただければ。研修が行き詰まっております。よろしく願います。

副市長 社会福祉協議会で運用を任されているバスが、もしあるのだとすると、その現状把握をいたしまして、もし改善ができるものであれば、改善できる方向で進めさ

せていただきたいと思います。残念ながら今、全体としてバスの利用状況が、ここにいるメンバーは把握できていないという状況でありますので、その点についてはお詫び申し上げます。また改めて、しっかり調べまして、何が対応できるか検討させていただきたいと思います。

意見 市のバスについては、十分に利用させていただいております。どうもありがとうございます。視察研修ということで使わせていただいておりますが、県内でないと許可にならない。ですから、先ほどからいろいろな話が出ており、所要時間の問題もありますけれども、県内にも見学すべきところがいっぱいあるとは思いますが、時間制限の撤廃とか、県内だけという制限の撤廃等をぜひお願いしたいと思っております。よろしく申し上げます。

《公園施設》

意見 直接、老人クラブには関係ないのですが、活動計画の中でちょっと支障を生じてきているようでございますのでお話をさせていただきます。

手前どもの石原2丁目に石原第二公園というのがあるのですが、その公園の規模であれば当然設置されているべき水道や簡易トイレというものが何も設置されておられません。あの公園が設置されて約13年たっています。私も自治会と老人会の両方で事務長をやっておるわけでございますので、トイレの関係を公民館まで行ってやらなくてはならないということをいつも懸念しております。公民館をあまりに開放的にしておくと、盗難、放置の心配があります。公園管理事務所からは何百という公園に同様のものがあるということを聞いておりまして、実務上の問題について、公園のフェンスが壊れたといった場合には、頭が下がるぐらいにすぐに来ていただいておりますが、その2点につきましてとなりますと、何かちょっと進行が遅いようでございます。何かそういった公園の実態の調査の結果とかありましたら教えていただき、簡易トイレや防犯について、でき得ればそういった面の配慮をしていただければありがたいなということでございます。よろしくお願いをしたいと思っております。

市長 公園のトイレあるいは水道等を設置するかどうかについては、多分、公園の面積などの基準があって、この基準より広いところには設置するとか、そういうふうになっているのであろうと思うのですが、石原2丁目の公園についても、少し調べさせていただきたいと思います。

《徘徊高齢者対策》

意見 最近、広報で徘徊老人の放送がよくありますよね。これはどこへ行ったかわからないという話がありますけれども、単純に私考えまして、タグをつけたらどうだろうと。そうすればどこかにいるということはわかるわけですよ。これはお金がかかる話ですので、当然、有料にしなければいけないと思います。どこかの自治体でこういうことをやっているところがあるのかどうか、それもわかりません。ただ、やはりそういうことを制度として設けた場合、お金を出してでも徘徊する老人にタグをつけたら居場所がわかるという話があるんじゃないかと思ひまして、それをぜひ考えていただきたいと思います。

高齢者いきがい課長 市では徘徊高齢者の家族支援サービス事業というのをやっております。具体的にはGPSなのですけれども、これを貸出させていただいて、入会金については市で全額助成させていただき、機器の使用料につきましても月額2分の1の2,000円が限度ではございますが、この額を支援させていただいております。対象の方につきましては、市内にお住まいの方で徘徊の癖のある者、65歳の在宅の高齢者を居宅で介護している家族という条件がございますけれども、こういったシステムがございます。もし、私どものPR不足でということでございますら、これはお詫びしなければなりません、そういったサービスもございます。ぜひ、ご活用いただければと思いますので、この点につきましては、またPRをさせていただきたいと考えております。よろしく願いいたします。

意見 了解しました。

市長 本日は本当にさまざまな、いろいろなご意見を頂戴しましてありがとうございます。お話を伺っていると、一番大きな課題と申しますか、問題は、やはり会員の減少という、そういう問題ではないだろうかと思ひます。もちろん、さまざまなご要望は重々承知しておりますが、会員減少というのは、先ほども申し上げましたように、自治会も含めまして、さまざまな団体で同じような課題を抱えているという、そういう状況がございます。

老人クラブ連合会様につきましては、先ほども申しましたように、例えば市の広報であるとか、いろんな市の施設に啓発のチラシを置くとか、いろんな広報の仕方があるって対応は比較的できるのではないだろうかというふうに考えております。この点につきましては、皆様方と協力しながら、会員増強にこちらとしても力を、ご協力をさせていただきたいというふうに思っております。それ以外のご要望につきましては、

すぐに対応できる部分と、いろいろな面で、すぐには対応できないものもございます。
その辺について、ぜひご理解をいただきたいと思えます。

今日は本当にお忙しい中、貴重なご意見をありがとうございました。